

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した

C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

【様式1】

令和7年度 校長経営戦略支援予算学校配付配付申請書

(校園コード 751734)

※校園コードを必ず入力してください。

取組に対する評価状況

学校名 瓜破東小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

1 配付額 698,000 円 → 決算額

円

2 配付上限額

学校配当 学級数 特別支援学級及び通級による指導の開設校(1開設1学級とみなす) 学級配当
350,000 + 8学級 × 29,000

※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。

配付上限額

= 698,000

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

〈学校園の年度目標〉

①小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、87.5%以上にする。

②小学校学力経年調査・学校生活アンケートの「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

①異学年とのふれあい活動の工夫と充実を図っていくために、高学年をリーダーにした縦割り活動に積極的に取り組んでいく。
②授業研究会や指導力向上のための研修会を年間計画に基づいて実施し、研究授業後の協議会や研修会での議論を活発に行う。また、伝達講習会を行い、各教職員が研修した内容を、他の教職員に広める機会を設ける。

達成

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①集会活動や学校行事などで、縦割り活動やペア学年活動を学期に1回以上行う。
②年間計画に基づいて、授業研究を実施し、協議会の形式を工夫しながら、指導力向上のための研修に取り組み、すべての教員が年1回以上、自主的に授業公開を行う。

達成

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

本校は〈うたえ りそうを ひろがれ ガッツで〉を合言葉に昨年度から【特別活動】の研究に取り組んでいる。昨年度の研究の成果と課題をふめ、今年度は「学級活動(話し合い)」を中心に据えることとした。この話し合い活動における「適切な支援・援助のあり方」を工夫・改善することにより、児童が学習課題に対して「自分事」としてとらえることができるよう、研究を深めていく。また、本校児童の自尊感情を高めるための適切な取り組みを学ぶ機会として、教員が積極的に特別活動の全国大会や近畿大会等に参加する機会を設けていく。

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】
【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】
・校内環境の整備

達成

①予算内訳
10-1 コードレス掃除機 50,000

小計 50,000円

②決算内訳

(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】

達成

【基本的な方向2 豊かな心の育成】
・人権を尊重する教育の推進
・校外体験学習の実施
・校内体験学習の実施

①予算内訳

7-1 講師謝礼（理科特別授業） @6,200×2=12,400
7-1 講師謝礼（韓国・朝鮮の文化） @4,300×7=30,100
7-1 講師謝礼（盲導犬） @4,300×3=12,900
7-1 講師謝礼（珠算教室） @3,000
7-1 講師謝礼（LGBTQ） @4,300×2=8,600
11-1 6年こころの劇場児童交通費 @10,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
11-1 6年ピースおおさか・歴史博物館児童交通費 @10,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 5年クラブパーク出前授業 @700×45=31,500
11-1 5年読売新聞社児童交通費 @12,500
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
11-1 5年モビリティタウン児童交通費 @13,500
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 5年モビリティタウン入場料 @4,500
11-1 4年ニッセイ名作劇場児童交通費 @12,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
11-1 4年科学館児童交通費 @13,600
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 4年科学館プラネタリウム @12,000
11-1 4年海遊館児童交通費 @16,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 4年海遊館入館料・アカデミー @50,000
11-1 4年モビリティタウン児童交通費 @12,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 4年モビリティタウン入場料 @5,000
11-1 3年あべのハルカス・あべのタスカル児童交通費 @9,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 3年あべのハルカス入場料 @13,000
11-1 3年モビリティタウン児童交通費 @10,000
8-5 上記の付添教職員旅費（下見含） @5,000
13-1 3年モビリティタウン入場料 @4,000
18-5 全国特別活動研究協議会東京大会資料代 @5,400×6=32,400
8-5 全国特別活動研究協議会東京大会教職員旅費 @40,000×6=240,000
18-5 近畿特別活動・近畿学校行事研究協議会京都大会資料代 @5,000×4=20,000

小計 648,000円

(3) 取組内容【基本的な方向番号、名称】

達成

①予算内訳

②決算内訳

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。